

日医発第 896 号 (地 406)

令和 2 年 1 月 1 8 日

都道府県医師会長 殿

公益社団法人 日本医師会長
中 川 俊 男



JMAT研修 基本編およびロジスティクス編の開催について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて本会では、別添のとおり、JMAT研修 基本編（令和3年1月17日）およびロジスティクス編（令和3年3月21日）を開催することといたしました。

本研修会は、JMAT（日本医師会災害医療チーム）に関する研修を行うことにより、災害への備えを十分なものとし、かつ、災害発生時において、被災地の都道府県医師会や郡市区医師会等との協働による医療支援活動の充実に資することを目的としております。

つきましては、貴会より救急災害医療担当役員等のご出席を賜りたく、お願い申し上げます。今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から、各都道府県医師会1名のご参加（講師・ファシリテーター等を除く）とさせていただいた上で、日本医師会館でのご参加と、ご所属の都道府県医師会館からテレビ会議（ZOOMを使用予定）でご参加いただく場合のどちらかをお選びいただきます。（本会にて、それぞれの会場までの出席者1名分の旅費（日当無し）を負担いたします）。

出席に際しましては、別紙の出席者名簿にご記入のうえ、短期間で恐縮ですが12月4日（金）までに、本会地域医療課宛へお送りください。

なお、都道府県医師会館での参加をお選びいただいた場合、グループディスカッションや機器操作の演習にはZOOM上でご参加いただく形になりますが、本研修の実習に含まれるEMISやJ-SPEEDの設定・入力について、演習助手として補助をできる方（県医師会事務局等でも可能）の確保をお願いいたします。

演習助手の確保が難しい場合、日本災害医学会等との調整を行わせていただきますが、必ずしも調整できるとは限りませんので、予めご了承ください。（演習助手の旅費・謝金は日本医師会で負担）

また、本研修を修了した全ての方に修了証を交付し、医師の方には日本医師会生涯教育制度の単位・カリキュラムコードが取得できるようになっております。

なお、別添のプログラム（案）につきましては、今後変更される予定がございますので、あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

記

JMAT研修 基本編

開催日：令和3年1月17日（日）9時～17時半

締切日：令和2年12月4日（金）

場 所：日本医師会5階会議室 テレビ会議（ZOOM）とのハイブリッド開催

対象者：都道府県医師会JMAT担当役員その他、各都道府県医師会が推薦する者（ロジスティックス担当者等、医師以外の者を含む）

※1つの医師会につき1名を上限とする。2名以上希望する場合は事前にご連絡をお願いします。

修了証：後日、都道府県医師会にお送りする予定。

JMAT研修 ロジスティクス編

開催日：令和3年3月21日（日）9時～17時半

締切日：令和2年12月4日（金）

場 所：日本医師会5階会議室 テレビ会議（ZOOM）とのハイブリッド開催

対象者：○医師：ロジスティクスの育成・指導を担う立場で受講

○医師会（医療機関）の事務職員：現地に到着したJMATの一員としての業務調整、都道府県医師会におけるJMATの派遣・受け入れを担う立場で受講

○全都道府県医師会が対象

○1つの医師会につき1名を上限とする。2名以上希望する場合は事前にご連絡をお願いします。

修了証：後日、都道府県医師会にお送りする予定。

JMAT研修 基本編
(令和3年1月17日開催)
申 込 み 書

※該当箇所に○印の上、12月4日(金)までにご回答をお願いいたします。

※出席者がいない場合もご回答をお願いいたします。

※1つの医師会につき、申込みは1名までです。

※旅費支給は1名分です。出席者がロジスティックス担当者等、医師以外の場合にも日本医師会旅費規程の金額(日当無し)を支給いたします。

_____ 医師会

(ご担当者 _____)

・出席します(日本医師会館・都道府県医師会館からTV会議)

※どちらかに○をつけてください

フリガナ		役 職	生年月日
氏 名			年 月 日
メール アドレス		※研修に必要な備品(タブレット)をお持ちですか。 <input type="checkbox"/> あります <input type="checkbox"/> ありません	
【都道府県医師会館からTV会議の場合】 EMISやJ-SPEEDの設定・入力について、演習助手の都道府県医師会での確保が可能ですか。 <input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 難しいので調整を依頼したい			

※タブレット端末等お持ちで無い場合は、数に限りがございますが本会より端末をお貸しいたします。

※出席者の生年月日は本研修の修了証発行をする際の登録に使用いたします。

・欠席します

日本医師会地域医療課 行き
(FAX 03-3946-2140/e-mail:chiiki_1@po.med.or.jp)

JMAT研修 ロジスティクス編 (令和3年3月21日開催) 申込み書

※該当箇所に○印の上、12月4日(金)までにご回答をお願いいたします。

※出席者がいない場合もご回答をお願いいたします。

※1つの医師会につき、申込みは1名までです。

※旅費支給は1名分です。出席者がロジスティクス担当者等、医師以外の場合にも日本医師会旅費規程の金額(日当無し)を支給いたします。

医師会

(ご担当者 _____)

・出席します(日本医師会館・都道府県医師会館からTV会議)

※どちらかに○をつけてください

フリガナ	役職	生年月日
氏名		年 月 日
メールアドレス	※研修に必要な備品(タブレット)をお持ちですか。 <input type="checkbox"/> あります <input type="checkbox"/> ありません	
【都道府県医師会館からTV会議の場合】 EMISやJ-SPEEDの設定・入力について、演習助手の都道府県医師会での確保が可能ですか。 <input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 難しいので調整を依頼したい		

※タブレット端末等お持ちで無い場合は、数に限りがございますが本会より端末をお貸しいたします。

※出席者の生年月日は本研修の修了証発行をする際の登録に使用いたします。

・欠席します



日本医師会 JMAT 研修 基本編 プログラム

【2021年1月17日(日)開催】会場:日本医師会館および ZOOM ミーティング (案)



○ 参加都道府県医師会

- 各都道府県医師会1名を基本とする

○ 学習目標

- 災害時、被災地内外から派遣される JMAT(日本医師会災害医療チーム)として、一体的・組織的な医療支援活動を行えるようにする。
- 被災地のコーディネート機能に従って、適切な災害医療活動が行えるよう、災害医療に関する基本的な知識・知見を身につける。また、自地域で災害が発生した時は、地域防災計画や所属医師会のマニュアル等に従って、「被災地 JMAT」としての活動を迅速に行えるようにする。

○ プログラム

＜JMAT 研修 e ラーニングシステム“JMAT-e”による事前学習(講義)＞

所要時間	科目等	概要	インストラクター等
30分程度 (確認テスト)	情報の共有と実際	情報共有の意義: JMAT 活動として、被災地コーディネート機能下での活動として 実際: JMAT 活動報告、クロノロジー、EMIS(広域災害・救急医療情報システム)、衛星携帯電話等、災害診療記録・JSPEED、避難所 アセスメントシート等 1. クロノロジー、EMIS、通信 2. 災害診療記録、J-SPEED ※EMIS および J-SPEED については、個人練習モードや e ラーニングサイト等を事前に案内し、効率性を高める	日本災害医学会
30分程度 (確認テスト)	救護所の運営	受援側、被災地 JMAT としての活動 所属医師会の災害対応マニュアル、行政との災害時医療救護協定等(開催地の地域性に応じる) 行政との連携	東京都医師会
20分程度 (確認テスト)	熱傷・外傷の処置	実習に先立つ座学 ・ 自地域が被災し、「被災地 JMAT」として救護所に出動した場合などを想定し、ターニケットの装着実習含む ・ 気道熱傷 ・ クラッシュシンドローム(圧挫症候群) ・ 外傷時の止血法その他災害時の傷病(救護所等でのターニケットの確認・使用法等)	日本災害医学会
30分程度 (確認テスト)	検視・検案	※事前学習(JMAT 研修 e ラーニングシステム JMAT-e)(2018年10月14日開催 JMAT 研修基本編収録)	東京都医師会

＜実地開催＞

時間	所要時間	区分	番号	科目等	概要(網掛け部分は実習科目)	インストラクター等
9:00~9:05	5分			開会・挨拶		日本医師会 長島常任理事
9:05~9:10	5分		01	オリエンテーション		日本医師会 (長島常任理事)
9:10~9:40	30分	講義	02	災害医療概論	災害に関する共通理念・言語、災害医療関連制度 コーディネート機能の下での活動 DMAT 等との役割分担と連携 安全確保	日本災害医学会
9:40~10:10	30分		03	JMAT 総論	JMAT 要綱 日本医師会(JMAT 本部)-都道府県医師会-郡市区医師会に求められる役割 過去事例 JMAT に求められる役割 「被災地 JMAT」、「支援 JMAT」それぞれの役割と連携 都道府県保健医療調整本部・地域の保健医療調整本部、被災地のコーディネート機能の下での活動、被災地の医師会との 協働、災害医療コーディネーターとの連携 DMAT 等との役割分担・連携・円滑な引き継ぎ	日本医師会 (長島常任理事)

時間	所要時間	区分	番号	科目等	概要(網掛け部分は実習科目)	インストラクター等
					診療内容(発災直後、急性期以降の環境悪化に伴う疾病とその予防・対応) 避難者の健康管理(行政職員、支援者等を含む)、医療ニーズの有無・探索と内容の把握、在宅・福祉施設等の巡回等 撤収のあり方(被災地の行政機関(保健所等)や医療機関への引き継ぎ 避難所等の環境改善、感染制御 医薬品・資器材リスト	
10:10~10:20	10分			休憩		
10:20~11:30	70分 3. 40分 4. 30分	実習	05	(前半) 情報の共有・記録	講師より下記の内容の概括を述べた後、各テーブルにおいて実習をしてもらう ※ハイブリッド方式での開催のため、裏表開催とはしない ※EMISの改良・アプリ化の研修内容への反映は、来年度以降に実施 3. クロノロジー(40分) 4. 衛星通信・電話、トランシーバー実習(30分) ※衛星通信は、日本医師会館での参加者にはスカパーJSATのアンテナを展示・説明 ※衛星携帯電話は、ZOOMでの開催、通信環境の関係(屋外)のため、説明のみにとどめる	日本災害医学会 宮城県医師会 東京都医師会 兵庫県医師会
11:30~12:20	50分			昼休み	(EMIS、J-SPEEDの設定)	
12:20~13:50	90分 1. 40分 2. 50分	実習	05	(後半) 情報の共有・記録	講師より下記の内容の概括を述べた後、各テーブルにおいて実習をしてもらう ※ハイブリッド方式での開催のため、裏表開催とはしない ※EMISの改良・アプリ化の研修内容への反映は、来年度以降に実施 1. EMIS実習(40分) 2. 災害診療記録の作成、J-SPEED実習(50分) ※衛星通信は、日本医師会館での参加者にはスカパーJSATのアンテナを展示・説明 ※衛星携帯電話は、ZOOMでの開催、通信環境の関係(屋外)のため、説明のみにとどめる	日本災害医学会 宮城県医師会 東京都医師会 兵庫県医師会
13:50~14:00	10分			休憩		
14:00~15:10	1. 30分 2. 40分	実習	07	被災地における活動 1、2	講師より下記の内容の概括を述べた後、各テーブルにおいて、自分たちが「被災地JMAT」となるという前提で実習をしてもらう。 実習方法(ロールプレイ、グループディスカッション)については、1~3の各講師が決める。 1. 保健医療調整本部の運営、コーディネート機能 (1)都道府県保健医療調整本部、保健所(地域保健医療調整本部・地域の拠点)への登録(コーディネーター側) (2)現地のコーディネート機能下での活動 (3)災害医療コーディネーターとの連携 (4)DMAT等との役割分担・連携・円滑な引き継ぎ 2. 災害発生直後およびそれ以降の被災地医師会 (5)救護所の運営(受援側、被災地JMATとしての活動) (6)在宅患者・要配慮者等の医療ニーズの把握と対応(他地域からの「支援JMAT」との連携を含む)	1. 保健医療調整本部の運営、コーディネート機能 日本災害医学会 2. 災害発生直後およびそれ以降の被災地医師会 宮城県医師会 東京都医師会 兵庫県医師会
15:10~15:20	10分			休憩		
15:20~16:10	3. 50分	実習	07	被災地における活動 3	講師より下記の内容の概括を述べた後、各テーブルにおいて、自分たちが「支援JMAT」となるという前提で実習をしてもらう。 実習方法(ロールプレイ、グループディスカッション)については、1~3の各講師が決める。 3. JMAT活動(特に支援JMATとして) (1)都道府県保健医療調整本部、保健所(地域保健医療調整本部・地域の拠点)への登録(JMAT側) (7)避難所等における活動 ※被災地で気を付けなければならない疾病(熱中症、DVT等)への対策を含む (8)多様な関係者との連携 (9)撤収(被災地の行政機関(保健所等)や医療機関への引き継ぎ・挨拶	3. JMAT活動(特に支援JMATとして) 宮城県医師会 東京都医師会 兵庫県医師会
16:10~16:30	20分	実習	08	日本医師会への情報発信、全国の医師会との情報共有	講師より下記の内容の概括を述べた後、各テーブルにおいて、自分たちがJMATとして被災地から情報発信をするという前提で実習をしてもらう(後発のJMAT、統括JMAT、日本医師会や全国の医師会に対し、どのような点に留意して活動報告や各種情報を作成するべきか) JMAT活動報告 被災地からの各種情報提供	宮城県医師会 東京都医師会 兵庫県医師会

時間	所要時間	区分	番号	科目等	概要(網掛け部分は実習科目)	インストラクター等
16:30~16:35	5分			休憩		
16:35~16:50	15分	実習	09	トリアージ	講師より下記の内容の概括を述べた後、各テーブルにおいて実習をしてもらう トリアージタグ、START 法等の説明含む ※ZOOMでの参加者には、事前にトリアージタグを当該都道府県医師会に送付	日本災害医学会
16:50~17:10	20分	実習	10	熱傷・外傷の処置	※事前学習により講義部分を補足 <ul style="list-style-type: none"> • 自地域が被災し、「被災地JMAT」として救護所に出動した場合などを想定し、ターニケットの装着実習含む • 気道熱傷 • クラッシュシンドローム(圧挫症候群) • 外傷時の止血法その他災害時の傷病(救護所等でのターニケットの確認・使用法等) 	日本災害医学会
17:10~17:20	10分			修了式	講評等	



日本医師会 JMAT 研修 ロジスティクス編 プログラム

【2021年3月21日(日)開催】会場:日本医師会館及び ZOOM ミーティング (案)



○ 参加都道府県医師会

- 各都道府県医師会1名を基本とする

○ 学習目標

災害時、JMAT(日本医師会災害医療チーム)または JMAT の派遣／受入を担う医師会活動において、被災地の医師会や都道府県保健医療調整本部・地域拠点との関係を構築し、地域拠点におけるミーティングの調整、J-SPEED 使用、支援・受援、生活環境の確保、必要物品の確保等、運営・庶務担当としてロジスティクスの役割を果たすことができるようになる。

○ プログラム

＜JMAT 研修 eラーニングシステム“JMAT-e”による事前学習(講義)＞

所要時間	科目等	概要	インストラクター等
30分程度 (確認テスト)	情報の共有と実際	情報共有の意義: JMAT 活動及び被災地コーディネート機能下での活動としてロジスティクスに求められるもの クローロジー、EMIS(広域災害救急医療情報システム)、衛星携帯電話等、災害診療記録・J-SPEED、避難所アセスメントシート等 1. クローロジー、EMIS、通信 2. J-SPEED ※EMIS および J-SPEED については、個人練習モードや eラーニングサイト等を事前に案内し、効率性を高める	日本災害医学会
30分程度 (確認テスト)	JMAT派遣終了後の活動	<ul style="list-style-type: none"> 活動記録や課題の集約 災害救助法や都道府県知事との協定に基づく請求事務 厚生労働省・中小企業庁等の国庫補助事業、地方単独事業の概要、請求プロセス	日本医師会 厚生労働省

＜実地開催＞

時間	所要時間	区分	番号	科目等	概要(網掛け部分は実習科目)	インストラクター等
9:00~9:05	5分			開会・挨拶		日本医師会 長島常任理事
9:05~9:10	5分		01	オリエンテーション		
9:10~9:40	30分	講義	02	災害医療概論	<ul style="list-style-type: none"> 災害医療支援活動におけるロジスティクスとは何か、その役割 災害に関する共通理念・言語、災害医療関連制度、ICS(インシデントコマンドシステム)、スフィアスタンダード コーディネート機能の下での活動 DMAT 等の他の保健医療チーム、関係団体等との役割分担と連携 安全確保 	日本災害医学会
9:40~10:10	30分		03	JMAT ロジスティクス 総論	<ul style="list-style-type: none"> JMAT 要綱 日本医師会(JMAT 本部)-都道府県医師会-郡市区医師会に求められる役割 過去事例 JMAT ロジスティクスに求められる役割 <ul style="list-style-type: none"> 「被災地JMAT」、「支援JMAT」それぞれの役割と連携 都道府県保健医療調整本部・地域の保健医療調整本部、被災地のコーディネート機能の下での活動、被災地の医師会との協働(支援JMAT)、災害医療コーディネーターとの連携 DMAT 等との役割分担・連携・円滑な引き継ぎ 診療内容(発災直後、急性期以降の環境悪化に伴う疾病とその予防・対応) 避難者の健康管理(行政職員、支援者等を含む)、医療ニーズの有無・探索と内容の把握、在宅・福祉施設等の巡回等 撤収のあり方(被災地の行政機関(保健所等)や医療機関への引き継ぎ) 避難所等の環境改善、感染制御 医薬品・資器材リスト及び調達 JMAT 隊員の生活環境確保 	日本医師会 (長島常任理事)
10:10~10:20	10分			休憩		

時間	所要時間	区分	番号	科目等	概要(網掛け部分は実習科目)	インストラクター等		
10:20～11:30	70分 3.40分 4.30分	実習	05	(前半) 情報の共有・記録	<p>ロジスティクスを前提とした内容とする 講師より下記の内容の概括を述べた後、各テーブルにおいて実習をしてもらう ※ハイブリッド方式での開催のため、裏表開催とはしない ※EMISの改良・アプリ化の研修内容への反映は、来年度以降に実施</p> <table border="1"> <tr> <td>3. クロノロジー(40分)</td> </tr> <tr> <td>4. 衛星通信・電話、トランシーバー実習(30分) ※今回研修の受講者の多くが勤務先の訓練や過去のJMAT研修等での実習経験があるとみられるため短縮</td> </tr> </table> <p>※衛星通信は、日本医師会館での参加者にはスカパーJSATのアンテナを展示・説明 ※衛星携帯電話は、ZOOMでの開催、通信環境の関係(屋外)のため、説明のみにとどめる</p>	3. クロノロジー(40分)	4. 衛星通信・電話、トランシーバー実習(30分) ※今回研修の受講者の多くが勤務先の訓練や過去のJMAT研修等での実習経験があるとみられるため短縮	日本災害医学会
3. クロノロジー(40分)								
4. 衛星通信・電話、トランシーバー実習(30分) ※今回研修の受講者の多くが勤務先の訓練や過去のJMAT研修等での実習経験があるとみられるため短縮								
11:30～12:20	50分			昼休み(EMIS、JSPEEDの設定。JMAT研修eラーニングシステム(JMAT-e)の説明)				
12:20～13:40	80分 1.40分 2.40分			(後半) 情報の共有・記録	<p>ロジスティクスを前提とした内容とする 講師より下記の内容の概括を述べた後、各テーブルにおいて実習をしてもらう ※ハイブリッド方式での開催のため、裏表開催とはしない ※EMISの改良・アプリ化の研修内容への反映は、来年度以降に実施</p> <table border="1"> <tr> <td>1. EMIS実習(40分)</td> </tr> <tr> <td>2. J-SPEED実習(40分)</td> </tr> </table> <p>※衛星通信は、日本医師会館での参加者にはスカパーJSATのアンテナを展示・説明 ※衛星携帯電話は、ZOOMでの開催、通信環境の関係(屋外)のため、説明のみにとどめる</p>	1. EMIS実習(40分)	2. J-SPEED実習(40分)	日本災害医学会
1. EMIS実習(40分)								
2. J-SPEED実習(40分)								
13:40～13:50	10分			休憩				
13:50～15:00	70分	実習	06	本部機能 および 被災地における活動 (2. 災害発生直後およびそれ以降の被災地医師会)	<p>【本部機能】 ロジスティクスとして求められるもの ※下記の内容のうち半数以上の内容とする <被災地JMAT、支援JMAT共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生直後の対応: 情報収集、登録JMATへの待機要請、都道府県医・日医災害時情報共有システム(オクレンジャー) ※実習が困難な場合は動画視聴に代えてよいものとする 日本医師会、被災地医師会、関係行政機関、関係団体(四師会、JRAT地域支部その他医療関係職能団体・学会等)、医師会災害関係委員会委員や連携しているDMAT・災害拠点病院関係者との連絡 初期段階のJMATの編成、待機 JMAT本部サイト(日本医師会): JMAT参加者の登録、必要な資料の入手、クロノロジーへの入力・閲覧、各JMATの派遣カレンダーの確認等 ※実習が困難な場合は動画視聴に代えてよいものとする JMAT派遣に当たっての各種手配(医薬品・資器材、交通手段(航空機、レンタカー等)、移動ルート確認、宿泊手配等) 連続的な派遣の調整 <p>※EMISによる被害状況の確認等は、別科目にて実習を行う。</p> <p><被災地JMAT></p> <ul style="list-style-type: none"> 会員の安否確認、管内医療機関の被害状況・復旧状況の把握(JMAT等の支援の要否の判断材料) 被災地の都道府県医師会として、保健医療調整本部、地域拠点への参画(郡市区医師会への参画要請) 支援JMATや被災地外の都道府県医師会からの職員派遣支援等の受入 <p>【被災地における活動】</p> <table border="1"> <tr> <td>2. 災害発生直後およびそれ以降の被災地医師会</td> <td>(5) 救護所の運営(受援側、被災地JMATとしての活動) (6) 在宅患者・要配慮者等の医療ニーズの把握と対応 (他地域からの「支援JMAT」との連携を含む)</td> </tr> </table>	2. 災害発生直後およびそれ以降の被災地医師会	(5) 救護所の運営(受援側、被災地JMATとしての活動) (6) 在宅患者・要配慮者等の医療ニーズの把握と対応 (他地域からの「支援JMAT」との連携を含む)	日本医師会 (長島常任理事) <日本医師会関係分> (10分) 東京都医師会 <特に被災地医師会による本部機能、活動(被災地JMAT)> (60分)
2. 災害発生直後およびそれ以降の被災地医師会	(5) 救護所の運営(受援側、被災地JMATとしての活動) (6) 在宅患者・要配慮者等の医療ニーズの把握と対応 (他地域からの「支援JMAT」との連携を含む)							
15:00～15:10	10分			休憩				

時間	所要時間	区分	番号	科目等	概要(網掛け部分は実習科目)	インストラクター等						
15:10～16:50	100分	実習	07	被災地における活動	<p>※下記の内容のうち半分以上とする ※JMAT のロジスティクスに必要な内容とする 「支援 JMAT」関係について、下記の1と3を統合し、過去の JMAT 活動を題材として、順繰りにロールプレイング。(ファシリテーターが、拠点責任者・統括 JMAT・避難所代表者(自治会、行政)・前任/後継 JMAT 等の役に扮する)</p> <p>(1)拠点ブース(活動開始前日に到着と想定) 1)派遣先の拠点(挨拶、到着時の情報収集・確認事項、統括 JMAT からの説明・前チームからの引継ぎ 2)朝ミーティング、(JMAT ミーティングを通した)派遣先の割り振り等) ↓ (2)避難所ブース 避難所(避難者の構成・衛生状況等の確認、避難所の代表者・行政からの課題聞き取り、JMAT 活動報告) ↓ (3)拠点ブース(活動中・活動終了当日と想定) 夕方ミーティング:報告・連絡事項、質疑、翌日の活動での留意事項、次のチームへの引き継ぎ ※派遣前の活動・EMIS・JSPEED・クロノロジー・日本医師会への情報発信は別科目にて実施</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 保健医療調整本部の運営、コーディネート機能</td> <td>(1)都道府県保健医療調整本部、保健所(地域保健医療調整本部・地域の拠点)への登録(コーディネーター側) (2)現地のコーディネート機能下での活動 (3)災害医療コーディネーターとの連携 (4)DMAT等との役割分担・連携・円滑な引き継ぎ</td> </tr> <tr> <td>前の実習へ移動 2. 災害発生直後およびそれ以降の被災地医師会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. JMAT活動(特に支援JMATとして)</td> <td>(7)都道府県保健医療調整本部、保健所(地域保健医療調整本部・地域の拠点)への登録(JMAT側) (8)避難所等における活動 (9)多様な関係者との連携 (10)撤収(被災地の行政機関(保健所等)や医療機関への引き継ぎ・挨拶</td> </tr> </table>	1. 保健医療調整本部の運営、コーディネート機能	(1)都道府県保健医療調整本部、保健所(地域保健医療調整本部・地域の拠点)への登録(コーディネーター側) (2)現地のコーディネート機能下での活動 (3)災害医療コーディネーターとの連携 (4)DMAT等との役割分担・連携・円滑な引き継ぎ	前の実習へ移動 2. 災害発生直後およびそれ以降の被災地医師会		3. JMAT活動(特に支援JMATとして)	(7)都道府県保健医療調整本部、保健所(地域保健医療調整本部・地域の拠点)への登録(JMAT側) (8)避難所等における活動 (9)多様な関係者との連携 (10)撤収(被災地の行政機関(保健所等)や医療機関への引き継ぎ・挨拶	<p>1. 保健医療調整本部の運営、コーディネート機能 3. JMAT活動(特に支援JMATとして)</p> <p>兵庫県医師会</p>
1. 保健医療調整本部の運営、コーディネート機能	(1)都道府県保健医療調整本部、保健所(地域保健医療調整本部・地域の拠点)への登録(コーディネーター側) (2)現地のコーディネート機能下での活動 (3)災害医療コーディネーターとの連携 (4)DMAT等との役割分担・連携・円滑な引き継ぎ											
前の実習へ移動 2. 災害発生直後およびそれ以降の被災地医師会												
3. JMAT活動(特に支援JMATとして)	(7)都道府県保健医療調整本部、保健所(地域保健医療調整本部・地域の拠点)への登録(JMAT側) (8)避難所等における活動 (9)多様な関係者との連携 (10)撤収(被災地の行政機関(保健所等)や医療機関への引き継ぎ・挨拶											
16:50～17:00	10分			休憩								
17:00～17:20	20分	実習	08	日本医師会への情報発信、全国の医師会との情報共有	<p>JMAT 本部サイト、都道府県医・日医災害時情報共有システム(オクレンジャー)の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> JMAT 活動報告(ロジスティクスとして) 被災地からの各種情報提供(地域独自の情報共有システム) 	<p>日本医師会 (長島常任理事) 兵庫県医師会</p>						
17:20～17:30	10分			修了式	講評等							